

2022 年 8 月 30 日

## 原料費調整制度に基づく 2022 年 10 月のガス料金について

静岡ガス株式会社（代表取締役 社長執行役員 岸田裕之）は、原料費調整制度<sup>※1</sup>に基づき、2022 年 10 月検針分のガス料金の従量料金単価を、2022 年 9 月検針分に比べ、1m<sup>3</sup> あたり 7.49 円（税込）調整いたします。これは、今回 2022 年 5 月～2022 年 7 月における LNG およびプロパンの価格（貿易統計）に基づいて算定される平均原料価格が、前回（2022 年 4 月～2022 年 6 月）に比べ上がった（8,330 円/トン）ためです。

これにより、標準家庭<sup>※2</sup>1 カ月あたりのガス料金は、2022 年 9 月検針分に比べ 217 円（税込）の値上げとなります。

### 1. 2022 年 10 月検針分のガス料金

#### (1) 料金表（一般ガス供給約款：45MJ）

| 料金表 | 1カ月のご使用量                                   | 基本料金       | 従量料金単価   | (参考)<br>2022年9月の<br>従量料金単価 |
|-----|--------------------------------------------|------------|----------|----------------------------|
| A   | 0m <sup>3</sup> から 10m <sup>3</sup> まで     | 858.00 円   | 257.83 円 | 250.34 円                   |
| B   | 10m <sup>3</sup> をこえて 25m <sup>3</sup> まで  | 902.00 円   | 253.43 円 | 245.94 円                   |
| C   | 25m <sup>3</sup> をこえて 60m <sup>3</sup> まで  | 1,430.00 円 | 232.32 円 | 224.83 円                   |
| D   | 60m <sup>3</sup> をこえて 150m <sup>3</sup> まで | 1,551.00 円 | 230.29 円 | 222.80 円                   |
| E   | 150m <sup>3</sup> をこえるもの                   | 1,741.15 円 | 229.02 円 | 221.53 円                   |

#### (2) 標準家庭の 1 カ月あたりガス料金

|            | 2022年10月 | 2022年9月 | 増減    |
|------------|----------|---------|-------|
| 1カ月あたりガス料金 | 8,167 円  | 7,950 円 | 217 円 |

### 2. 原料費調整制度による変動額

(1) 貿易統計による原料価格および平均原料価格

|               | 2022年5月～<br>2022年7月 | 2022年4月～<br>2022年6月 | 増減      |
|---------------|---------------------|---------------------|---------|
| トン当たりLNG平均価格  | 110,680 円           | 101,840 円           |         |
| トン当たりプロパン平均価格 | 109,580 円           | 109,590 円           |         |
| 平均原料価格        | 111,240 円           | 102,910 円           | 8,330 円 |

(2) 調整額

|     | 2022年10月 | 2022年9月 | 増減     |
|-----|----------|---------|--------|
| 調整額 | 25.34 円  | 17.85 円 | 7.49 円 |

3. 変動額の計算式

(1) 平均原料価格

$$\begin{aligned}\text{平均原料価格} &= \text{トン当たり LNG 平均価格} \times 0.9424 + \text{トン当たりプロパン平均価格} \times 0.0633 \\ &= 110,680 \times 0.9424 + 109,580 \times 0.0633 \\ &= 111,240 \quad (\text{算定結果の 10 円未満の端数は四捨五入})\end{aligned}$$

(2) 原料価格変動額

$$\begin{aligned}\text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格}^{\ast 3} \\ &= 111,240 - 83,090 \\ &= 28,100 \quad (\text{算定結果の 100 円未満の端数は切り捨て})\end{aligned}$$

(3) 調整額

$$\begin{aligned}\text{調整額} &= \text{原料価格変動額} \times 0.082 \div 100 \times (1 + \text{消費税率}) \\ &= 28,100 \times 0.082 \div 100 \times 1.10 \\ &= 25.34 \quad (\text{算定結果の小数 3 位以下の端数は切り捨て})\end{aligned}$$

※1 原料費調整制度とは、経済情勢の変化を迅速に反映した料金とするため、原料費の変動に応じ毎月料金を見直す制度です。

※2 標準家庭での使用量は、29m<sup>3</sup>/月として算定しています。

※3 基準平均原料価格は 2015 年 1 月～3 月を算定期間とし、83,090 円としています。

以上